

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 3月 9日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900532		
法人名	特定非営利活動法人 こうえい会		
事業所名	グループホーム こうえい館		
所在地	北海道旭川市豊岡8条8丁目1番3号 (電話) 0166-35-9877		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年3月3日	評価確定日	平成20年3月21日

【情報提供票より】(平成20年2月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 10人, 非常勤 人, 常勤換算 4.8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛メッキ銅板葺 造り		
	2 階建ての	1 ~ 2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	19,000 ~ 23,000 円
敷金	(有)(50,000 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有)(50,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,350 円	

(4) 利用者の概要(2月21日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	8 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名
要介護3	2 名	要介護4	0 名
要介護5	1 名	要支援2	
年齢	平均 82 歳	最低 72 歳	最高 88 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	国本病院 忠和クリニック 橋爪クリニック 村上医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営者はアガペとスキルを表題にし、ありのままを知り、受け入れる。その人らしく生きる。喜びの実現。これらの理念を職員はもとより家族とも共有を目指し、真摯に日々業務に邁進されています。また北海道グループホーム協議会の理事を担い、認知症に関わる講義もされています。民家を改造している為、段差などもあるがそこが生活リハビリにもつながっています。また既存の造りを活かし随所に工夫が見られ、運営者自らが手作りでその人に合った手すりやベットの介助バーを取り付けるなど温かみの感じるホームとなっています。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回が4回目の評価であります。過去の評価で得た改善点は運営者・職員間で検討し現在は改善の見通しが立っています。また職員も自己評価項目一つひとつのねらいをしっかりと理解されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価するにあたり、職員各自による自己評価が行われ全職員で話し合われています。自己評価表を記入することで、入居さんがホームでの価値を見い出せるようなケアの提案に向けた意識の高さが伺えます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の意義や役割などは十分に理解し機能されています。今後も定期的開催し、参加メンバーから率直な意見をいただき、また相談しながら地域の人々の認知症への理解や交流を深めていきたいとの積極的な姿勢が感じられます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	職員との信頼関係が出来ているため、その雰囲気から家族からの声が出しやすくなっています。また今回の利用者家族アンケートには「要望や相談ごとの対応の早さには助かってます」など、家族から出された些細な意見も取り上げ運営に反映されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進委員に町内会会長に参加してもらい、また管理者が町内会の班会議に出席するなどし、地域とは馴染みの関係ができています。今後はキャラバンメイト活動の推進や町内会に回覧するなど日常活動を通じて認知症に対する広報や啓発へと発展されようとしています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営者は認知症ケアに欠かす事ができない「その人らしく生きる」など事業所独自の理念を作り上げています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者、管理者、職員間で共有されており、理念と日々の生活の一致を目標に取り組まれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し班会議などに参加し、地域住民との信頼も厚い。また近隣の小学校の盆踊りへの参加や中学生の職場体験を受け入れるなど温かみのある交流がなされています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を十分理解し、更には職員全員で自己評価表を記入する中で個別的ケアを分析し見直しを図られています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2ヶ月毎に定期的開催されています。議題の「医療連携について」などでは、その効果や現状、具体的な様子など質の高い内容で行われており、その記録もきめ細かく纏められています。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	運営者として市との連携や関わりの重要性を認識し市から受けた集団指導の内容について、毎月の勉強会・カンファレンスに活かしています。また毎日の申し送りにてそれらの内容を報告し、サービスの向上に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	家族の面会時に管理者、職員が日々の出来事、認知症状を含めた健康状態についての報告や毎月の便りにて暮らしぶりなどが案内されています。また体調に変化が生じた場合は迅速に家族に報告し相談がなされています。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族の訪問時にはこまめに声かけを行い意見を聞き、また質問や相談ごとには丁寧に話し合わせ、それらを運営に反映するなど信頼関係が構築されています。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	ユニット間の異動を控え、新任の職員には管理者が助言するなどして早く馴染んでもらえるよう細心の配慮をし、入居者へのダメージを与えない取り組みがなされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は日頃よりコミュニケーションを計り、外部研修の参加や、また毎月行われる内部研修での勉強会では知識や課題を見つけ、それらをより質の高いケアの実践に向け演習をするなどして、職員の育成に反映されています。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営者はグループホーム協議会などの役員を担う中、他事業者との交流や研修にも積極的に参加されており、サービスの質の向上にも反映されています。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>「ありのままを知り受け入れる」ことを目指したグループホームであり、必ず本人にも見学に来てもらい、納得して頂けるまで話し合いを重ねるなどの工夫をして、職員やホームの雰囲気に馴染めるように取り組んでいます。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>金魚の世話やにんにく・南蛮などの畑作り・調理・買い物などでも本人から学び、ホームの生活そのものが支え合う関係を築き、「喜びの実現」に向けた取り組みがなされています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの生活歴を通し、日常行為の中から本人の現在の気持ちを知ることが出来るよう、本人・家族に声かけを丁寧に行い、思いや意向の把握に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	毎月のカンファレンスで介護計画の評価を行っています。また日頃より家族と連携を取りながら、本人・家族に要望を出してもらうなどして介護計画に、それらのことが反映されています。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	体調が急激に変化された場合や退院された時など、医師や家族の意見を聞きながら、職員全員で現状に即した対応で新たな介護計画を作成されています。		程度の差にかかわらず、入居者の体調に変化が生じた場合の対処方法を徹底するための引継ぎ方法やファイルのまとめ方などの工夫が望まれます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の意見を聞きながら都度、状況や要望に対し、職員の個別的対応で喫茶店での憩いの時間を共にするなど「その人らしく生きる」ことへの支援がなされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	ホームと連携している医療機関の看護師との関わりで入居者全員の体調の維持管理をされています。また入居者、家族の要望に応じて状態変化時についても往診など適切な医療が受けられるよう支援されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期における対応についても、家族や主治医と相談し支援の方法など共通の認識が持たれています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いは個人情報保護法に対応し、配慮された取り組みがなされています。また入居者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけの支援が行われています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	計画的な外出をはじめ、その日その時の要望に沿い生け花用の花を買いに行くなど「喜びの実現」に向け本人のペースに合わせ、体調などにも十分配慮した支援がされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と入居者が近くのスーパーへ行き、魚や野菜の鮮度を判別する方、メニューを練る方、台所に立ち料理をする方など力量に応じて買い出しの段階から関わってもらい、栄養士の免許を持つ職員が食材品目を多く使い栄養のバランスと食事が楽しみなものになっています。		入居者がより食事を楽しめるよう、テーブルと椅子の高さの調整が望まれます。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的には週2回となっていますが入居者の状況や希望により柔軟に対応されています。またゆっくりと入浴ができるように支援されています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式で一人ひとりの生活歴が把握され、玄関に生花を生けたり、包丁を研ぐ方や漬物作りなどその人に合った好みや張り合いを持てる個別的支援が自然な形で行われています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の思いを察しながら職員と喫茶店や買い物など日常的な、外出支援がされています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者の外出傾向も職員間で把握され、鍵をかけないケアに取り組んでいます。入居者が雪かきなどで戸外に出る時は、職員も一緒に行動し安全面で配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練を入居者と共に実施しており、連絡体制の確立や火災報知機などの設備についても定期点検されています。		今後は避難訓練を年3回に増やして日頃より、近隣の住民の協力が得られる働きかけを行う計画がされています。また火災訓練などについても運営推進会議で話し合わせ実施されることを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量において確認の記録もされており、栄養士の資格を持つ職員が多くの食材品目を使い、食事形態にも工夫された支援がされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	改造する中で廊下に出入り口を作り、適度の採光を取り入れると同時に一人になれる居場所も確保されています。また食堂や居間も家庭的な空間で入居者それぞれがくつろげるような工夫がなされています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の形態を存分に発揮され、本人の居心地良く過ごせる部屋作りに努め、個性的で自宅の延長の場となるような工夫がされています。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。